

Gウェイブシステムは、幅広いニーズに応える3つの緑化スタイルをそろえている。景観を重視したインテンシブ（管理）型緑化システム「GウェイブFD-L工法」とローコストでメンテナンスイージーなエクステンシブ（省管理）型緑化システム「GウェイブFD-E工法」。そして、その中間に位置するセミインテンシブ型緑化システム「GウェイブFD-GC工法」。屋上緑化の目的や条件に合わせて、選択することができる。



タジマ埼玉工場

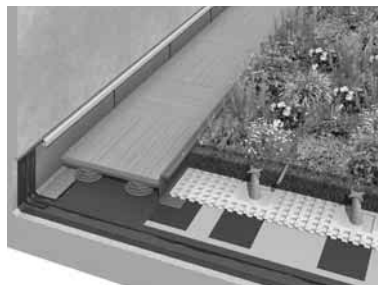
### ■GウェイブFD-L工法（インテンシブ型緑化）

管理型緑化。完成時の景観を重視し、緑化の持つ機能に高い意匠性をプラスした緑化システム。さまざまな植物が選択可能で、徹底した管理により、庭園や公園など大規模なグリーンイメージを屋上に創り出していく。



### ■GウェイブFD-GC工法（セミインテンシブ型緑化）

グランドカバープランツを中心に、豊富な種類の草花が植栽可能。ルーフバルコニーや工場の屋根など土を厚くできない場所においても、本格的な屋上緑化を実現する。



### ■GウェイブFD-E工法（エクステンシブ型緑化）

省管理型緑化。自然に近い状態にある植物の生命力を利用し、緑化の持つ機能を低管理で発揮させるシステム。セダム類の植物に限定されるが、ローコスト、メンテナンスイージーが特徴。

